

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会
平成 27 年度 第 4 回理事会 議事録

- 1.開催日時 平成 27 年 9 月 14 日 午後 6:45～午後 8:40
- 2.開催場所 中央大学理工学部後楽園キャンパス 3 号館 10 階 31001 会議室
- 3.理事総数 15 名
- 4.出席者数 9 名（書面表決書 2 名）
出席者（山西哲郎、宇佐美彰朗、保原幸夫、吉村豊、森川貞夫、岩山海渡、小林均、黒田伸、池上孝則 敬称略）
書面表決書（前河洋一、鈴木良雄 敬称略）
- 5.議長選任 議長として山西哲郎氏が選出された。

6.議事の経過の概要および議決の結果

第 1 号議案 前回理事会（8 月 3 日開催分）議事録に関する件
保原氏から各理事に対し過日メールにて送信し、内容を確認していただいたが、特に疑義等がなかったため承認されたものとする旨報告があった。

第 2 号議案 議事録署名人の指名について
議事録署名人として小林均氏と保原幸夫氏が選出された。

第 3 号議案 2015メルボルンマラソンについて
保原氏より、申し込み状況等について報告があり、今後の活動について審議した。

■ 1 次募集の昨日時点での申込者数は 72 名であるが、昨年同様、締め切り直前の駆け込みエントリーがあれば昨年並みの 90 名程度になるものと思う。
昨年度は 20 日以降に関西外語大学からの留学生 10 名程度の申し込みがあったが、今年は同志社大学からの留学生数名が申し込んでくれそうである。
今年はボランティアの申し込み問い合わせがあったが、大会本部に問い合わせたところ、既に定員に達しているとの回答を得たので、日本事務局のお手伝いをしてくれないかとの打診をしている。
現地での交流イベントへの参加希望者を募集したところ、現時点で昨年並みの申し込みがあったので、会場手配等、準備を進めている。

■ 大会後の 1 泊 2 日ヤラバレーツアーについては、8 月末で申し込みを締め切ったが、宇佐美ランニング教室関係者 4 名、森川氏紹介の参加者 3 名の参加があった。

■ 大会自体がサポートしている脳性麻痺の子どもたちのトレーニングセンター（C P E C）訪問は群馬の医師ファミリーおよび埼玉大学の教授の 4 名で行くことになった。
訪問にあたっては日本事務局から 10 万円程度の寄付をしたいと思っている。
日本人参加者にも寄付の呼びかけをする予定である。
理事の皆さんからも寄付をして頂く事になった。金額については、参加者からの寄付額や本事業の収支を踏まえて決定することにした。

■マラソンツアーについては、クラブツーリズムが現状5名で、ツアーは催行することになった。H I Sと日本旅行は確認中。

第4号議案

各種ランニング教室について

保原氏より実施状況について報告があった。

■J S I Eマラソン完走教室

毎回参加者が1～3名程度で実施しており、新規の人が減っている。10月に入るとマラソンシーズンになるので少しは参加者が増えて来るものと期待している。

■熟年ランニングスクール

9月から新学期に入ったが9月～11月期の参加者は多少入れ替えはあったが10人が維持できている。毎回、参加者は8人を上回り参加率は高い。

■浦安・美走塾

10月～12月で下期分が開催されるが、下期は教育委員会からの要請もあり、従来の富岡小学校に加え、隣の見明川小学校でも実施することになった。講師は従来通り石川、菅原両氏にお願いする。

第5号議案

第6回国際交流駅伝について

保原氏より素案の説明があり、集客方法等について審議した。

■実施要項

来年2月7日(日)に皇居周回コースで開催するように、丸の内警察から使用許可を取得した。基本的には昨年同様、3人1チームの駅伝と個人10Kで実施する。今回は比嘉氏の会社に運営委託することになったので、早急に実施要項を決定し、早めに募集を開始したい。

■集客

今年は”国際交流”の名にふさわしい大会にするために外国人参加を増やしたいと思っており、大使館チームの勧誘に積極的に取り組むことにする。これまでの、オーストラリアに加え、エチオピア、ケニア、ウガンダといったアフリカ諸国に参加をお願いする予定である。

各大学には多くの留学生が在籍しているので、積極的に勧誘する事になった。

第6号議案

第8回市民ランナー交流セミナーについて

保原氏より素案の説明があり、詳細内容について審議した。

■趣旨

一昨年、昨年の流れを受け、日本のマラソン大会に海外からの参加者を増やすためにはどうしたら良いかについて考える機会を提供することにする。

大都市で開催される大規模マラソンは積極的な情報発信がある程度功を奏しており、主催者発表によると東京マラソンへの外国人参加者数は5000人を超えている。

一方、地方の大会は郷土色豊かな魅力的大会を実現しているにもかかわらず、海外への情報発信がうまくできていないことが原因して外国人参加者はそれほど多くない。

そこで、海外からの参加者を増やしたいと考えている地方大会が、海外への情報発信を効果

的に実施するための方策について話し合うフォーラムにしたい。

■日程、プログラム

2月27日(土)、2月28日(日)の2日間で実施する。

27日(土)は従来通り、基調講演、大会紹介、パネルディスカッション、懇親会の構成とし、基調講演は実質的にスポーツ・ツーリズムの推進活動をしている「スポーツ・ツーリズム機構」に、大会紹介は国際交流を重視した特色ある大会にお願いすることにした。

したがって、候補大会について、理事の皆さんから推薦大会を挙げて貰うことになった。パネリストとしては、積極的にプロモーション活動をしている主催者、スポーツツーリズム関係者から人選する事になると思うが、日本で海外マラソンのプロモーション活動をしている、各国の観光協会や日本事務局も入れることになった。

28日(日)は東京マラソンに参加した外国人を対象とした国際交流パーティを実施する。狙いは、海外からの参加者は個人やファミリーで来日しているケースが多いと思うので、レース後のパーティに興味を持ってくれるのではないかという点と、そのような方達に対して郷土芸能などをアピールポイントとしている地方大会のアピールができるのではないかとといった点である。

必ずしも、地方から上京して貰わなくても、都内に同好会が存在する”阿波踊り”などを披露するのも面白いのではという意見も出された。

■会場

1日目のフォーラムについては、昨年実施の東京海洋大学をはじめとして、理事が関係している中央大学、日本大学での実施の可能性についても打診してみる。

2日目の国際交流パーティについては、都内の貸しホール+ケータリング、ホテル、レストランなどでの実施可能性について検討する。

■募集方法

まずは、一昨年作成の主催者リストに基づいて案内を出すのが、アンケート調査で海外からの参加者増に興味を示した大会は重点案内先として特別な案内をすることも検討する。

2日目のパーティについては、facebook等のSNSで情報発信することになると思うので、効果的な情報発信方法についてアイデアがあれば提案頂きたい。

会場手配との関係で、できるだけ早期に情報発信できるように実施要項の確定、チラシの作成等の準備を進めたい。

■募集定員、参加費

過去の実績も踏まえ、定員は、フォーラム100名、パーティ100名と仮設定する。

パーティへの外国人参加人数の目標は50名としたい。

参加費は1日目のフォーラム2000円、懇親会3000円とし、2日目の国際交流パーティは5000円を目安に会場を探してみる。

■タイトル

フォーラムについては趣旨にふさわしいテーマを検討して提案する。

「東京マラソン・国際交流パーティ(仮タイトル)」については、”東京マラソン”をタイトルに入れて良いか、山西理事長が早野事務局長に趣旨を説明して確認することになった。

第6号議案 その他

■トスカーナキャンプ体験ツアー

10月に杉田さんが来日されるので、10月23日(金)午前中に打合せをするよう森川氏がアレンジする。また、それとは別に元理事の高橋氏が10月12日(月)に打合せを行うべく調整中。

■孫基禎記念平和マラソン

日程は10月25日(日)に決まったが、コースその他については詳細の連絡待ちである。情報が入り次第、どのような形で関わったら良いか等について検討するが、小林氏が希望者を募って参加する予定。先方には招待扱いにして貰うように交渉する。

■東北復興駅伝共走交流大会 2015 福島版

10月24日(土)～25日(日)の2日間で、いわき市陸上競技場スタート、福島県庁前ゴールで実施する。今年是有志によるプレ大会の位置づけ。10km区間と5km区間を交互に設定し、各区間は競争せず一緒に走ることをルールとする。

主催は本大会実行委員会とし、当協会は後援という立場である。

■次回理事会について


次回理事会は11月9日(月)に実施することになった。

以上をもって議案全部の審議を終了したので、午後8時40分議長は閉会を宣言し散会した。

上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人において下記に署名・押印する。

平成27年9月14日

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会

議長 山西松印 

議事録署名人 保原幸夫 

議事録署名人 小林均 